

学校教育調査報告書

- 学習・生活全般、平成14年度調査との比較 -

岩手県立総合教育センター

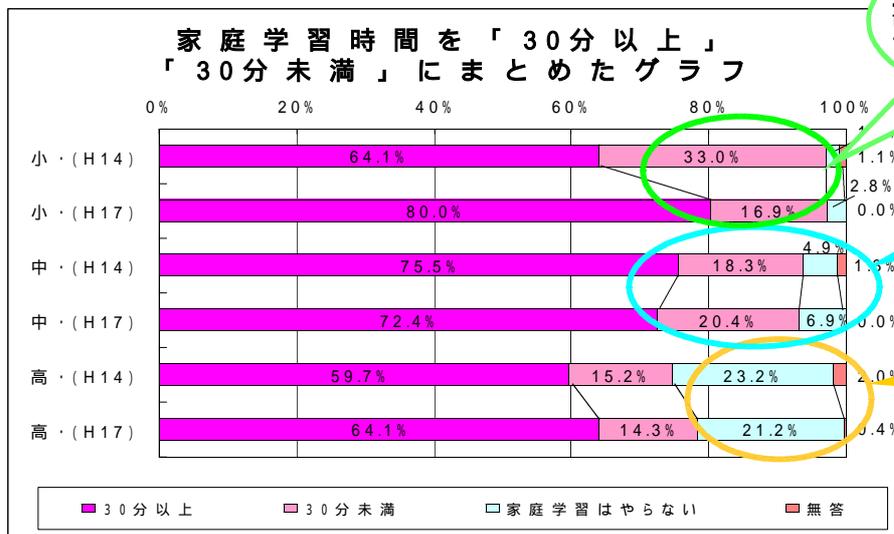
1 家庭学習の時間



Q6 - 児童生徒の家庭学習の時間は・・・？

家庭学習を30分以上している割合を前回と比較すると、小学生は、増加し8割、中学生は、やや減少し約7割、高校生は、やや増加し6割強。

2割を超える高校生が、「家庭学習はやらない」と回答。

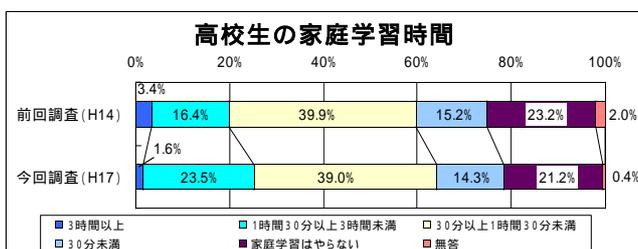
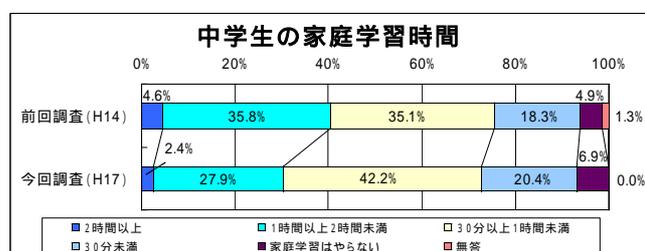
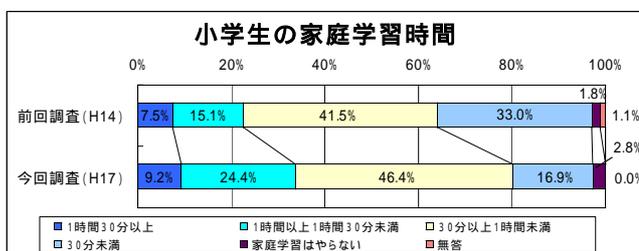
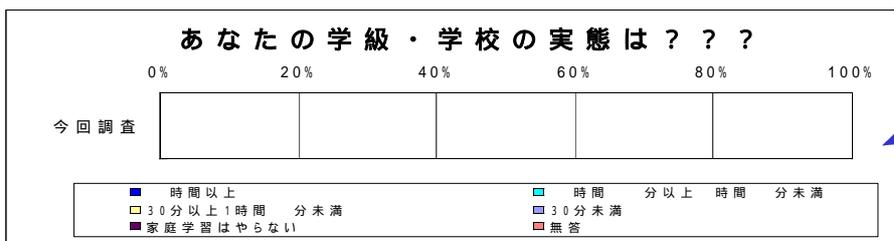


「30分未満」の割合が大きく減少しています。

「30分未満」「家庭学習をしない」の割合が増加しています。

家庭学習をしない生徒は減少していますが、2割以上みられます。

自分の学級の実態を調査してみましょう。どんな結果がみられるかな？



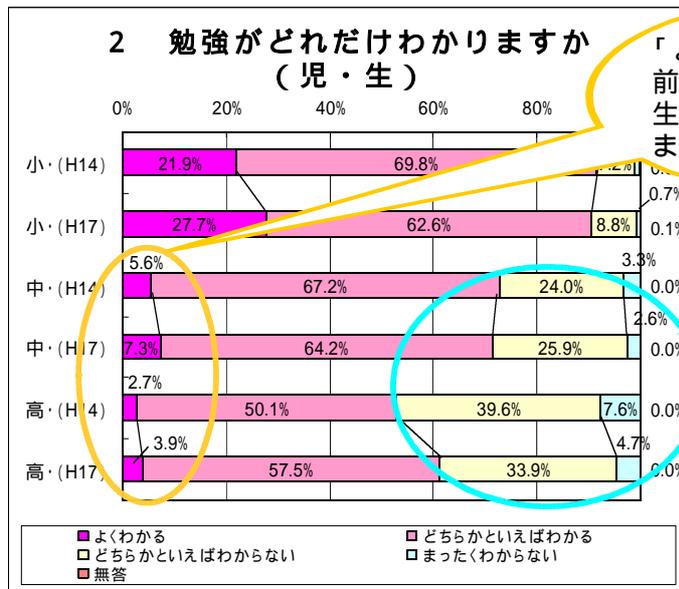
特 小学生の家庭学習時間の傾向は、担任の先生が指導の目安としている家庭学習時間の調査結果とほぼ同じです。中学生・高校生の家庭学習時間の傾向は、担任の先生が指導の目安としている家庭学習時間よりも短いことがわかります。(詳細は、学級担任4-②参照)

2 授業の理解度

Q 2 授業中に勉強したことがどれだけわかりますか？

授業内容を理解している割合を前回と比較すると、小学生はほぼ変わらず9割、中学生も、ほぼ変わらず約7割、高校生は、増加し6割。

小学生の約3割が、「よくわかる」と回答。



「よくわかる」の割合が、前回より、中学生、高校生ともに少し増加しています。

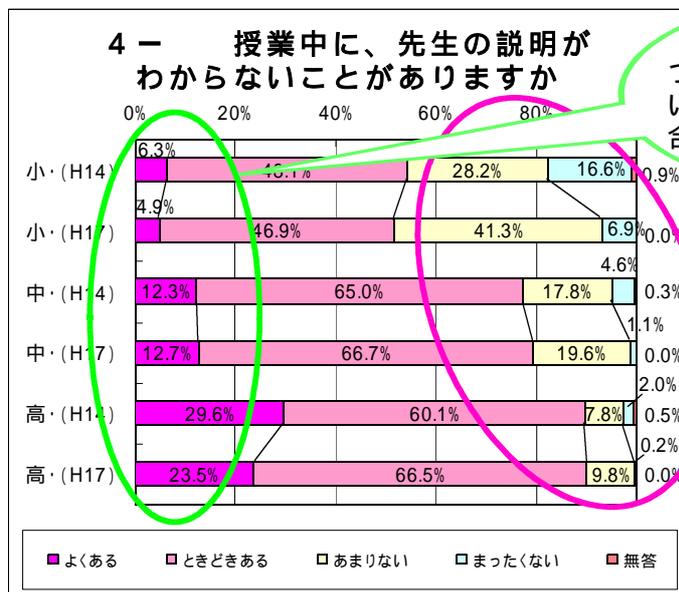
中学生の約3割、高校生は前回より減少していますが、約4割が「わからない」と回答しています。

特 理解が不十分な児童生徒に対して、「個別指導」をしている先生の割合は小8割、中4割、高6割です。中学校の先生の3割は「家庭での補充問題」で対応しています。(学級担任2参照)

3 授業中の様子

Q 4 - 授業中に、先生の説明がわからないことがありますか？

「よくある」「ときどきある」を合わせた割合は、小学生は5割、中学生は8割、高校生は9割と、前回とほとんど変化が見られない。高校生の2割強が、「わからないことがよくある」と回答。



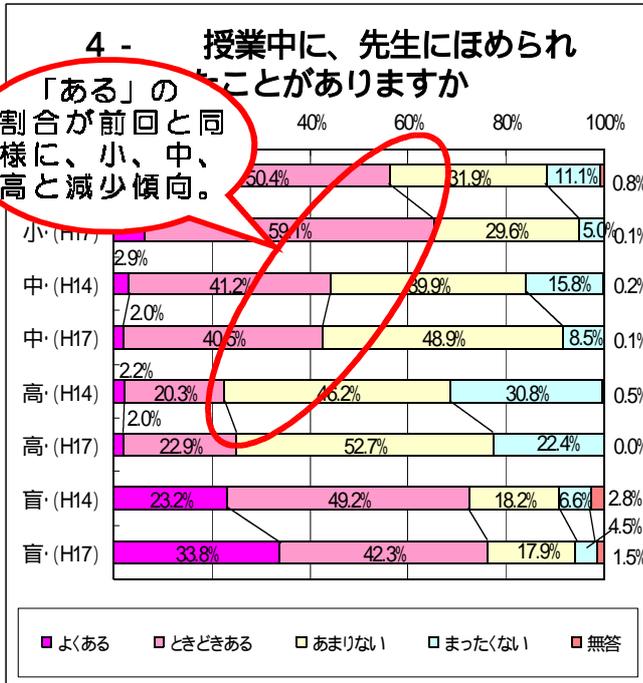
小・中・高と進むにつれて「よくある」(強いマイナス傾向)の割合が増加しています。

小の「全くない」が大きく減少。「ない」傾向の割合も、小・中・高と半減しています。

特 小・中・高の担任の先生の9割以上が「学習の定着が難しい児童生徒がいる」と回答。特に、高校の先生の2割は「学級の半数以上いる」と回答しています。(学級担任3-⑤参照)

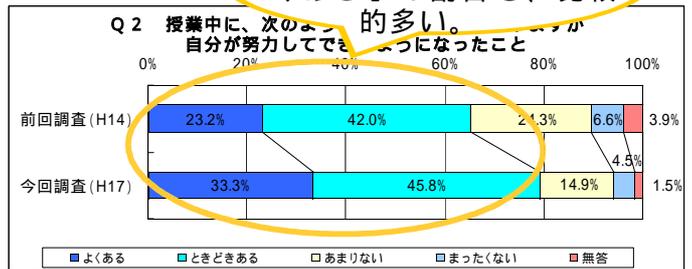
Q 4 - 先生にほめられたことはありますか？

「ある」、小：約6割、中：約4割、高：約2割、盲聾養：約8割。
校種間に大きな差。



Q 4 - 自分でがんばってできるようになったこと **盲聾養**

前回より、「ある」が大きく増加し、約8割。

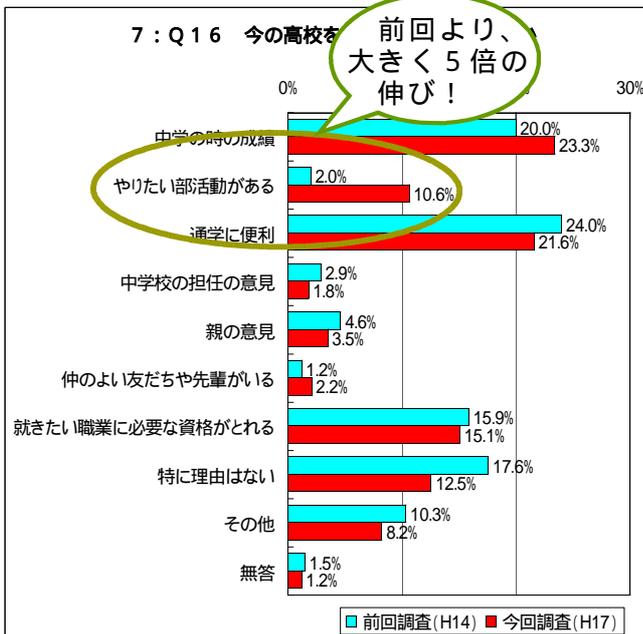


特 校種により、担任の自己評価（「児童生徒をほめている・認めている」）の結果に違いがみられます。（学級担任9参照）

4 通っている高校や進路

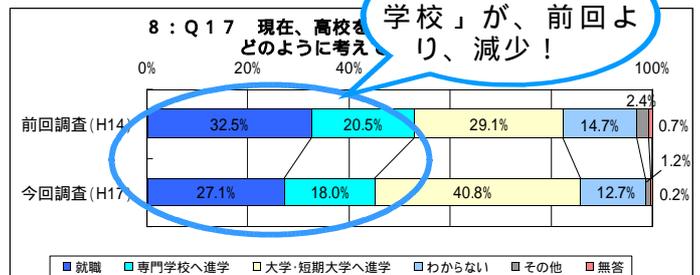
Q 8 - 今の高校を選んだ理由は何ですか？

「中学の成績」「通学に便利」が上位。
前回より、「やりたい部活動がある」が大きく増加。



Q 8 - 高校卒業後の進路は？

前回より、「大学・短期大学への進学」が大きく増加。



特 「高校卒業後の進路」について、保護者の希望も、生徒と同様に、「大学・短期大学への進学」が、前回より増加しています。（保護者10参照）

教育調査

活用の **アイディア!**



その1・・・ 校内研修で・・・

例えば、まず、1学期の終わりに児童生徒に質問してみましよう!

- ・「先生の説明がわからないことある?」
- ・「先生の勉強進め方、早いなあと思う?」等々

夏季休業中の校内研修会等で・・・

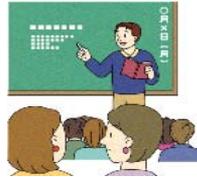
- ・「うちの学級は、・・・なのよ。」
- ・「この学年は、・・・な傾向があるね。」
- ・「センターの調査と比べて、いい傾向ね。」
- ・「2学期は、 に入力を入れましよう!」

児童生徒の
実態把握と
共通理解



2学期に向けた
方針検討と
具体策確認

その2・・・ 学級懇談で・・・



例えば、まず学級懇談の時期に合わせて、児童生徒に質問してみましよう!

- ・「家庭学習の時間はどれくらい?」
- ・「自分の親のどんなところが好き?」等々

学級懇談会で・・・

- ・「家庭学習の時間が(県の実態と比較して)短いので、 の内容で、 分の時間を確保できるように、ご理解とご協力を・・・!」
- ・「『ほめてくれるところが好き』という割合が多いので、今後もどんどんほめて!」等

児童生徒の
実態把握



保護者との
共通理解と
協力依頼

その他に・・・ こんな時の資料に!

外部評価会議等の基礎資料として
学校経営計画、学年・学級経営案、学習指導案における児童生徒の実態の基礎資料として

(教育センターの調査結果と)学級・学校等の調査(の比較)により明らかになった課題は・・・

この課題の解決のために・・・

質問項目及び調査対象

	質問項目の概要	児・生	保	担
1	学校の楽しさ	○		
2	学習内容の理解	○		
3	勉強がわからないとき	○	○	○
4	授業中の様子 (説明がわからないこと、 ほめられたこと等)	○		○
5	教科外学習の好き嫌い (道徳、運動会、学習発表 会、総合、クラブ等)	○		○
6	家庭学習の様子 (内容、時間、必要性等)	○	○	○
7	通塾の実態	○	○	
8	高校入学理由	○		
9	卒業後の進路	○	○	
10	学級の友だちについて	○		
11	自分の親について	○		
12	学級担任について	○		○
13	自分(子どもの長所等) について	○	○	○
14	努力の経験	○		
15	地域への意識	○		
16	学校の教育活動の役割		○	○
17	学校の教育活動の満足 度		○	
18	学校の教育内容への関 心		○	
19	親同士の会話 ・勉強 ・友だち ・先生		○	部活 進路
20	子どもとの会話		○	
21	子どもの交友関係		○	
22	学校への相談		○	
23	保護者と担任との連絡		○	○
24	P T A活動		○	○

*校種により、質問内容に違いがある場合があります。

これまでの教育調査の流れは・・・

平成14年度学校教育調査A

・平成15年度学校教育調査B(主に学習面)

・平成16年度学校教育調査C(主に生活面)

平成17年度学校教育調査A

すべて、当センターのWebページに掲載しています。

www1.iwate-ed.jp

活用してのご感想やご意見等をメールでお知らせください。次回の調査の参考とさせていただきます。

E-mail: tyousa@iwate-ed.jp

まずは1問・・・

児童生徒の実態を把握してみませんか?